



ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンについては、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html
の **Microsoft Outlook (リリース 8.5 以降) 用の Cisco ViewMail のクイックスタートガイド**を参照してください。

- [ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 \(バージョン 8.0 のみ\)](#) (1 ページ)

ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンについては、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html
の **Microsoft Outlook (リリース 8.5 以降) 用の Cisco ViewMail のクイックスタートガイド**を参照してください。

ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)

Outlook からボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音したりできます。メッセージを送信したり、メッセージに返信したり、メッセージを転送できるのは他のユーザに対してだけでなく、パブリック同報リストや電子メールアドレスに対しても行えます。

組織内に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションに存在するユーザに対してもメッセージを送信したり、返信することもできます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注) Cisco Unity Connection メールボックスのサイズが割り当て分を超えると、メッセージを送信できない場合があります。(メールボックスのサイズの管理の章を参照してください。)

ボイス メッセージの送信

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- Outlook 受信トレイの Outlook ツールバーで、**新しいボイスメッセージアイコン**をクリックします。
- [アクション]メニューで、**新しいボイスメッセージ**をクリックします。

ステップ 2 Unity Connection のユーザ名または電子メールアドレスと、件名を入力します。

(注) 電子メールアドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。

ステップ 3 Media Master で、**録音** (丸) をクリックしてメッセージを録音します。

ステップ 4 録音が終了したら、**停止** (正方形) をクリックします。

ステップ 5 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

ステップ 6 **送信** をクリックします。

メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)

Outlook でボイス メッセージと受信者を確認できます。ボイス メッセージと受信者は、電子メールとは異なる Outlook フォルダに表示されます。

一度開かれた新規のメッセージは、削除されるまで保存されます。メッセージ保存ポリシーを適用するように Unity Connection が設定されているかどうかを管理者に確認し、そのように設定されている場合は、メッセージが完全に削除されるまでの期間を確認してください。Unity Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されているかどうかは通知されません。また、メッセージ保存ポリシーが適用された結果としてメッセージが完全に削除される際にも警告は表示されません。

[送信元] フィールドの情報は送信者を示します。この欄には Unity Connection の名前が表示され、Connection ユーザ以外の人物や Connection にログオンしていないユーザがメッセージを残した場合は「Unity Connection Messaging System」と表示されます。発信者の電話番号がわかる場合は、[件名] フィールドに番号が表示されます。

システムの設定方法に応じて、ボイスメッセージが含まれる Outlook フォルダには他の種類のメッセージ (ファクス メッセージなど) が示される場合があります。

メッセージの確認

ステップ 1 ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、メッセージをダブルクリックして開きます。

(注) Outlook のプレビュー ペインではメッセージを確認できません。

ステップ 2 ボイス メッセージを開いた状態で、Media Master の再生 (右矢印) をクリックして、メッセージを再生します。

ステップ 3 メッセージで、メッセージツールバーのボタンを使用して、電子メールメッセージを処理するのと同じ方法でメッセージを管理します。

(注) 受信トレイ内のすべてのメッセージが開封済みメッセージである場合でも、Outlook の封筒アイコンは閉じたままになります。

メッセージの返信 (バージョン 8.0 のみ)

ここに示す手順を実行して、ボイスメッセージに返信するか、返信を録音して電子メールメッセージに返信します。返信先として指定されるのは送信者のみですが、受信者を追加することもできます。

「Unity Connection Messaging System」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザでないか、またはメッセージを残したときにログオンしていなかったことを意味します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

メッセージへの返信

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- ボイス メッセージを開いた状態で、**返信** をクリックします。
- 電子メール メッセージを開いた状態で、[アクション] メニューの **音声で返信** をクリックします。

ステップ 2 Media Master で、**録音** (丸) をクリックします。

ステップ 3 録音を終了したら、**停止** (正方形) をクリックします。

ステップ 4 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

ステップ 5 **送信** をクリックします。

ボイス メッセージの転送 (バージョン 8.0 のみ)

ここに示す手順を使用して、ボイス メッセージをそのまま転送するか、ボイス メッセージまたは電子メール メッセージを転送する前に再生するコメントを録音します。

ボイス メッセージの転送

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- 開いたボイス メッセージで、**転送**をクリックします。
- 開いた電子メール メッセージで、[アクション] メニューの**音声で転送**をクリックします。

ステップ 2 受信者の名前を入力します。

ステップ 3 Media Master で、**録音 (丸)** をクリックして音声コメントを録音します。

ステップ 4 録音が終了したら、**停止 (正方形)** をクリックします。

ステップ 5 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

ステップ 6 **送信** をクリックします。

削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)

ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダからメッセージを削除する手順は、電子メール メッセージを削除する手順と同じです。ただし、削除済みのボイス メッセージは灰色の打ち消し線付きのテキストで表示されます。削除したボイス メッセージは、Cisco Unity Connection によって消去されるまで、ボイス メッセージフォルダ内に残ります。

Unity Connection は、一定の経過時間に達すると、削除済みのメッセージを自動的に消去することがあります。メッセージが完全に削除されるまでの保存期間については、管理者に問い合せてください。そうすることにより、重要なメッセージをアーカイブまたは移動するための計画を立てることができます。



ヒント ボイスメッセージが削除される前にアーカイブするには、Media Master の [オプション] メニューで [ファイルにコピー] オプションを使用します。

削除されたメッセージを手動で消去することもできます。

削除済みメッセージを手動で消去

ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、[編集] メニューの**削除済みメッセージの削除**をクリックします。